

施策評価シート

評価実施年度：平成30年度

事務事業所管部局長 (幹事部局)	環境生活部 松本 修吉	電話番号	5231
---------------------	-------------	------	------

①施策の目的等

施策の名称	施策Ⅲ-2-3 文化芸術の振興
目的	〇県民が芸術文化を楽しんだり、自ら活動に参加したりする機会を増やすことにより、暮らしの中で潤いや心の豊かさが実感できるような環境づくりを目指す。

②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
県立文化施設の年間入館者数	目標値	1,107.0	926.0	1,107.0	1,107.0	1,107.0	千人	目標値							
	取組目標値							取組目標値							
	実績値	1,081.0	962.0	1,056.0				実績値							
	達成率	97.7	103.9	95.4	-			達成率	-	-	-	-			%
県民文化祭の参加者数	目標値	50,000.0	50,000.0	50,000.0	50,000.0	50,000.0	人	目標値							
	取組目標値							取組目標値							
	実績値	45,231.0	39,613.0	35,900.0				実績値							
	達成率	90.5	79.3	71.8	-			達成率	-	-	-	-			%
定性目標	平成28年度～平成31年度														
成果参考指標の実績等の補足説明（任意記載）	<ul style="list-style-type: none"> 県立文化施設の年間入館者数は次のとおりである。 県立美術館 203,654人…平成28年度（229,038人）を下回ったが、平成27年度から3年連続で20万人以上の入館者数を維持した。 県民会館 493,052人…耐震工事による休館期間のあった平成28年度（311,723人）より58%増。 グラントワ 359,415人…平成28年度（421,048人）を下回ったが、単年度当たりの入館者数としては開館以来5番目の多さ。 県民文化祭参加者数は次のとおりである。 主催事業（文化芸術次世代育成支援事業、総合美術展、文芸作品公募等）15,328人…平成27年度以降ほぼ横ばいの状況。特に文化芸術次世代育成支援事業は4,963人で、事業を開始した平成24年度の約2倍、過去6年間で2番目の多さ。 共催事業（市町村単位で実施される文化祭、団体単位で実施される公演活動等）20,572人…前年度比85%。近年減少傾向。 														

③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的に対する現状 <small>（客観的事実・データなどに基つた施策の現状や取組状況）</small>	<ul style="list-style-type: none"> 県立文化施設では東西の美術館とホールを中心に、美術、音楽、演劇、伝統芸能などの文化芸術に触れる機会を提供した。 美術館の入館者の年齢構成は、県立美術館、石見美術館とも40歳代以上が過半数を占めている。また、県立美術館は近年、外国人入館者数も増加しており、平成29年（暦年）は1,363人で、前年比30%増となっている。 県民文化祭を開催し、多くの県民が自主的に文化活動に取り組んだり、文化芸術に触れる機会を提供した。文化芸術次世代育成支援事業においては、9の文化芸術団体が37の小・中・高等学校を訪問し、児童、生徒が文化芸術に触れる機会の拡大、担い手の育成に取り組んだ。 少子化により生徒数が減少傾向にある中で、高校生の文化部参加率は概ね30%を維持している。 平成29年度全国高等学校総合文化祭に15部門、延べ209人の高校生が参加した。
---	--

④総合的な評価

	判断	その理由
評価時点での総合的な評価 <small>A:順調に進んでいる B:概ね順調に進んでいる（見直す点がある） C:あまり順調に進んでいない</small>	B	<ul style="list-style-type: none"> 県立文化施設の入館者数は、概ね目標どおりの入館者を確保した。美術館を中心に、今後さらに幅広い年齢層や観光客の入館を増やしていく必要がある。 県民文化祭の参加者数は全体としては減少したが、文化芸術次世代育成支援事業、総合美術展、文芸作品公募等の主催事業は昨年並みの参加者数を確保できた。今後、各実施団体との連携により、さらに若年層や共催事業の増加につながる取組みを行う必要がある。 高校生の文化部参加率は概ね30%を維持しており、青少年の文化活動推進の取組みにつながった。生徒数が減少傾向にある中、文化部の維持、活性化を図る必要がある。

⑤課題の認識

(1)平成31年度末の施策目的の達成状況（予測） <small>A:達成できる B:概ね達成できる C:達成は困難</small>	判断	その理由（④の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載）
(2)施策の目的達成に向けての課題	B	<ul style="list-style-type: none"> 県立文化施設については、多彩で魅力のある芸術文化事業を引き続き実施していく必要がある。特に美術館においては、若い世代や、外国人を含めた観光客も意識した訴求力のある展覧会や関連イベントを企画・実施していくことが課題である。 県民会館、いわみ芸術劇場では県内市町村との連携により、県域全体の文化振興につながる取組みをさらに進めていくことが課題である。 県民文化祭については、参加者の固定化や高齢化による参加者数の減少傾向が強まっており、若い世代を中心とした参加者数の確保が課題である。 学校においては、少子化による生徒数（部員数）の減少により、次代の文化活動の担い手育成が一層困難になると予想されるなか、文化部活動の存続や活動水準の維持・向上を図っていくことが課題である。

⑥今後の取組みの方向性

課題解決に向けての今後の取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> 県立美術館では、リニューアルした施設・設備や新たな収蔵品なども活用し、今まで美術館に足を運んだことのない方にも来館いただけるような親子向けの企画や外国人を含めた観光客も意識したサービスなどに積極的に取り組む。 石見美術館では、ファッション等の特色あるコレクションを活用した企画や複合施設の特性を生かしたイベントの開催などにより、首都圏からの集客増にもつなげていく。 県民会館、いわみ芸術劇場は、指定管理者と連携し、館内でのホールイベントやワークショップの充実を図るとともに、公立文化施設・教育施設を活用したアウトリーチ活動（市町村、教育委員会、文化芸術団体などと連携したイベント、ワークショップなど）を積極的に展開し、県民の文化事業への参加を促進する。 県民文化祭については、若年層の参加を増やしていくためのPRを工夫するほか、文化芸術団体との意見交換などを通じ、共催事業を含めてさらに多くの県民が参加できるように検討する。 学校・地域・文化芸術団体等と連携して、児童・生徒に多様な文化芸術に触れる機会等を提供し、文化活動への意欲・関心を高めていくとともに、学校の文化部活動においては、部活動指導員及び地域指導者を活用する学校を支援することで文化部活動の活動水準の維持・向上を図る。
---------------------	---

施策評価シート別紙2(事務事業一覧)

施策の名称	施策Ⅲ-2-3 文化芸術の振興				
-------	-----------------	--	--	--	--

(単位:千円)

	事務事業名	目的(意図)	前年度 事業費	今年度 事業費	所管課名
1	創造的な文化活動推進事業	自主的な文化活動の促進と活動水準を向上する	16,086	24,691	文化国際課
2	文化を担う人材育成・顕彰・奨励事業	より一層活動を活発化させるとともにそのレベルアップを図るため	135	175	文化国際課
3	芸術・文化の情報発信・収集事業	文化団体の財政基盤や情報基盤を強化するとともに、県民に文化情報を提供し、文化活動の展開を容易にする。	11,162	10,821	文化国際課
4	県立美術館事業	美術に対する県民の興味や関心が高まる	427,978	399,064	文化国際課
5	芸術文化センター事業	文化芸術に対する県民の関心が高まる。	409,870	428,863	文化国際課
6	美術品等取得	優れた美術に触れる機会を提供する。	374	488	文化国際課
7	県民会館事業	幅広い文化芸術活動と優れた文化芸術鑑賞の機会が得られる。	216,835	218,968	文化国際課
8	青少年文化活動推進事業	児童・生徒の「豊かな心」を育むとともに、地域との連携により次代の文化活動の担い手を育成する。	8,676	8,967	社会教育課
9	部活動地域指導者活用支援事業	生徒の「豊かな心」を育むとともに、地域との連携により次代の文化活動の担い手を育成する。	12,423	13,636	社会教育課
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					